

気になる課題、抱えている問題は何か？ 複合化・複数年化で解決してみませんか？

■ 人・組織について

- 職員が少なくて手が回っていないことがある
- 人事異動が多いので計画内容の引き継ぎに手間がかかる
- 技術的なことがわかる職員の後継者がいない
-

■ 事業内容について

- 個別発注したそれぞれの計画内容に整合性が低いところがある
- 計画内容に一貫性がないところがある
- 長寿命化に合わせて耐震化を図るなど効率的な計画ができていない
-

■ 事業費について

- 人口減少、使用量減少により、事業収入の縮小が懸念される
- 上下水道事業に係る予算の縮小が懸念される
- 施設の老朽化により、維持管理費が上昇している
-

■ 情報について

- 台帳整備など、資産情報を整理したい
- ICT（情報技術）の活用で情報活用をスマートにし、事業に活かしたい
- 情報の収集・管理の継続性を確保したい
-

手引書(案)、参考資料編(標準約款(案)、共通仕様書(案))は以下よりダウンロードが可能です
水コン協トップページの水コン協活動(成果)▶事業活動報告
<http://www.suikon.or.jp/seika/jigyokatsudou/manual20170616/index.html>

豊かな地球 水のある暮らし 一人たちの原点です

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里五丁目26番8号 スズヨシビル7階

TEL:03-6806-5751/FAX:03-6806-5753

<http://www.suikon.or.jp/>

会員各社にお気軽にご相談ください。全力でお手伝い致します。

© 公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会

複合・複数年での業務発注のご提案 ～事業運営支援業務の活用に向けて～

水コンは事業体のホームドクターとして多岐にわたる業務に携わり、事業体の施策展開を支援してまいりました。

事業体を支援する中で最近良く、「色々な施策展開が必要なことはわかっている、できるところからやってはいるけれど、それを支えるに十分な体制や費用に心配がある」という声が聞かれます。

この心配を解消するために水コンは、関連する諸計画を複合し、複数年で立案する枠組みを提案し、より一層、事業体の事業運営基盤強化、迅速な意思決定に深く関わることで多様な官民協働(※)を実践したいと考えています。

※ 水コン協では『事業運営支援業務活用の手引き(案)』を発行し、多様な官民協働の実現に取り組んでいます。複合・複数年での業務対応がこの『手引き(案)』に示した「事業運営支援」の実践に繋がると考えています。

■ 期待される効果

人・組織



- 関連する案件を複合的・複数年にまとめることで、発注事務量が軽減できる
- 発注事務量を軽減できることで、少ない人員でも様々な施策への対応力を確保できる
- 人事異動に伴う引き継ぎ、あるいは専門外のことへの対応力を確保できる

事業



- 関連する案件の整合性、一貫性を確認しやすくなり、より良いソリューションを獲得できる
- 複数年対応により、総合的なPDCA(実施に伴う知見による過年度策定内容の変更)が可能になる
- 「決めたら変更しない」ではなく「試して調整する」方法により、柔軟な対応が可能になる

事業費



- 関連する案件をまとめることで、コスト削減を考慮した効率的な計画を立案できる
- 関連する案件をまとめることで、積算上の重複工程を回避できる
- 複合化・複数年化により事業費の平準化を行いやすくなる

情報



- 関連する案件をまとめることで、業務間の情報共有及び整合性の確保ができる
- 複数年業務の間に最新情報を追加していくことで、より精度の高い分析や検討が可能となる
- 情報収集・管理の継続性確保・効率化策を実践することで、ヒト・モノ・カネを効率的・効果的に運用できる

参考事例

水道・下水道 大規模事業体

基礎データ

- 水道計画人口：28万人
- 下水道計画人口：18万人
- 職員数：水道50人、下水30人

対象業務

- 水道：水需要予測、施設機能診断・評価、施設整備計画、財政計画
- 下水道：管路・処理場等施設ストマネ計画、財政計画
- 共通：データベースシステム基本設計、執行体制・官民連携方法の検討

対象期間

- 2年間

業務概要

- 上下水道事業のアセットマネジメントの導入を目的に人（執行体制・官民連携）モノ（施設管理）、カネ（経営管理）及び情報管理に関する業務を複合的に発注。

効果

- これにより、計画課、管理課、財務課等様々な組織が効果的・効率的に連携し、一体的かつ複数年で検討できたことにより、実行性の高いアセットマネジメントの成果をとりまとめることができた。

水道 中小規模事業体

基礎データ

- 計画給水人口：5万人
- 職員数：10人

対象業務

- アセットマネジメント検討
- 水道施設・設備機能評価
- 水道施設更新計画

対象期間

- 2年間

業務概要

- 長期更新需要と施設機能を踏まえた施設更新計画の策定を目的に、アセットマネジメントの基礎となる施設データの精査、機能診断、将来水需要を踏まえた施設更新計画を複合的に発注。

効果

- 各計画間の調整や関係者との協議・調整がスムーズに進むとともに、長期計画であるアセットマネジメントと10年間の施設更新計画の整合を図った。

下水道 中小規模事業体

基礎データ

- 計画区域：約7千ha
- 計画処理人口：約20万人
- 職員数：60人程度

対象業務

- 経営戦略の策定
- 下水道ビジョンの策定
- 全体計画の見直し

対象期間

- 2年間

業務概要

- 実効性のある経営戦略策定を目的に、施設情報の見直し（全体計画の見直し）、並びに下水道ビジョン策定による課題と戦略の明確化を複合的に発注。

効果

- 関係者との協議・調整もスムーズに進み、実効性の高いアウトプットのとりまとめを実現した。

複合・複数年化のイメージ

こんな組み合わせがあります！

水道

計画	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目
①水道ビジョン								
②経営戦略								
③アセットマネジメント								
④耐震計画（診断・対策検討）								
⑤水道BCP								
⑥更新計画								
⑦管網計算								
⑧その他計画（危機管理マニュアル等）								

①②③④⑤⑥⑦⑧

・耐震診断結果を踏まえた優先順位設定
・耐震計画を考慮した人、資機材等の適正配置検討

・耐震の裏付けを持った更新需要見直しの検討
・検討条件、方針等の一貫性確保
・類似業務の同時発注による事務量軽減

・地震、風水害、水質汚染事故、テロ対策等を考慮した危機管理の検討

・設備更新と土壌耐震化の対策箇所、時期の調整
・関連業務の同時発注による整合性確保

下水道

計画	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目
①全体計画								
②事業計画								
③耐震計画（診断・対策検討）								
④総合地震対策計画								
⑤下水道BCP								
⑥浸水対策計画								
⑦ストマネ計画								
⑧その他計画（下水道熱等）								

①②③④⑤⑥⑦⑧

・耐震診断結果を踏まえた優先順位設定
・耐震、総合地震を考慮した人、資機材等の適正配置検討

・検討条件、方針等の一貫性確保
・類似業務の同時発注による事務量軽減

・設備更新と土壌耐震化の対策箇所、時期の調整
・関連業務の同時発注による整合性確保

・更新（劣化対策）と機能強化の両立（雨水がけ、雨水渠等）
・関連業務の同時発注による整合性確保

・汚水管渠の更生工事と探検設備工事の両立

みなさまのニーズに **ピッタリ** の
事業運営支援の **カタチ** があります。

まずは水コンに **複合・複数年** での
業務対応についてご相談を！

